

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

⚠ 警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠ 注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- してはいけない
- 必ず守る

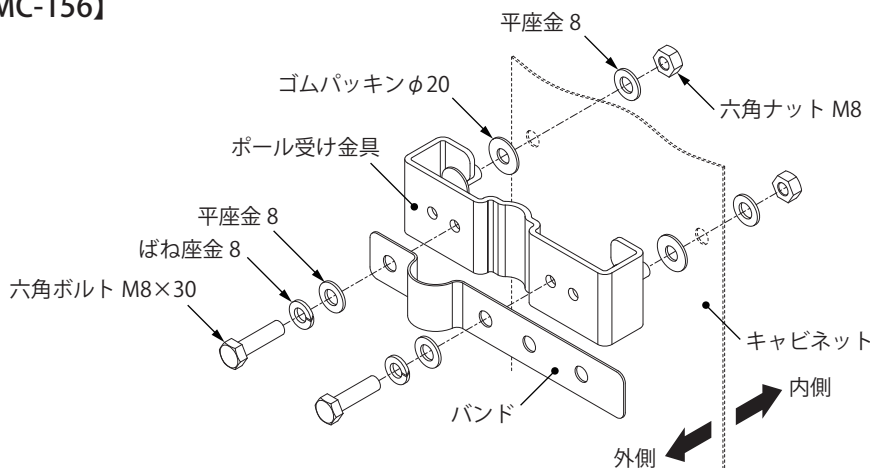
■施工上のご注意

⚠ 警告							
	<p>適用キャビネット以外に使用しないでください。キャビネットが安定せず落下するおそれがあります。</p> <p>本製品でキャビネットを吊上げないでください。落下の原因になります。</p> <p>適用ポール径以外に使用しないでください。金具が滑り、落下の原因になります。</p>						
	<p>本製品の取付可能質量、取付可能板厚を超えるキャビネットを取付けないでください。変形・破損・落下の原因になります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>取付可能質量 (ポール用金具 1 セット)</td> <td>PMC-156、206、306、406 : 100kg 以下 上記以外のもの : 150kg 以下</td> </tr> <tr> <td>取付可能キャビネット板厚</td> <td>1.6mm 以下</td> </tr> </table>	取付可能質量 (ポール用金具 1 セット)	PMC-156、206、306、406 : 100kg 以下 上記以外のもの : 150kg 以下	取付可能キャビネット板厚	1.6mm 以下		
取付可能質量 (ポール用金具 1 セット)	PMC-156、206、306、406 : 100kg 以下 上記以外のもの : 150kg 以下						
取付可能キャビネット板厚	1.6mm 以下						
	<p>設置を行う際は、必ず2人以上で作業してください。けがの原因になります。</p> <p>金具をポールに取付ける際は、バンドで確実に固定してください。落下の原因になります。</p> <p>本製品をキャビネットの上下2か所に必ず取付けてください。落下・破損の原因になります。</p> <p>ポール・コンクリート柱は、強風時も想定した上で十分に強度があるものを使用してください。変形・破損・落下の原因になります。</p>						
	<p>キャビネット取付時は、完全に固定されるまでキャビネットを吊上げた状態にしておいてください。転倒・落下のおそれがあります。</p> <p>使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。また、使用環境や使用状態によって、ゆるむおそれがあります。定期的増締めしてください。締付けが不十分な場合、破損、落下などの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M8</td> <td>8.0 ~ 14.0</td> </tr> <tr> <td>M10</td> <td>15.0 ~ 25.0</td> </tr> </tbody> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M8	8.0 ~ 14.0	M10	15.0 ~ 25.0
ねじの呼び	適正締付トルク N・m						
M8	8.0 ~ 14.0						
M10	15.0 ~ 25.0						

⚠ 注意	
	<p>作業時は必ず軍手などの手袋を着用してください。素手での作業はけがの原因になります。</p> <p>屋外など防水性能が必要な場合は、取付穴にコーキングを行ってください。キャビネット内に水が浸入する原因になります。</p>
	<p>キャビネット本体が水平に設置できるようにレベル調整を行ってください。扉の開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。</p> <p>穴加工の際は、バリなどを確実に取除いてください。けがの原因になります。</p>

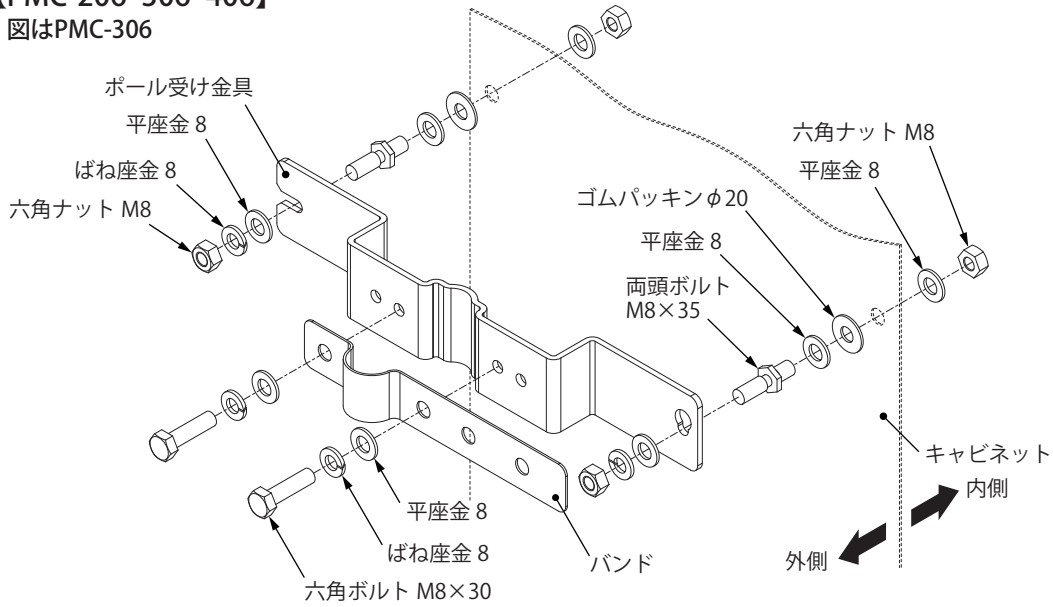
■各部の名称

【PMC-156】



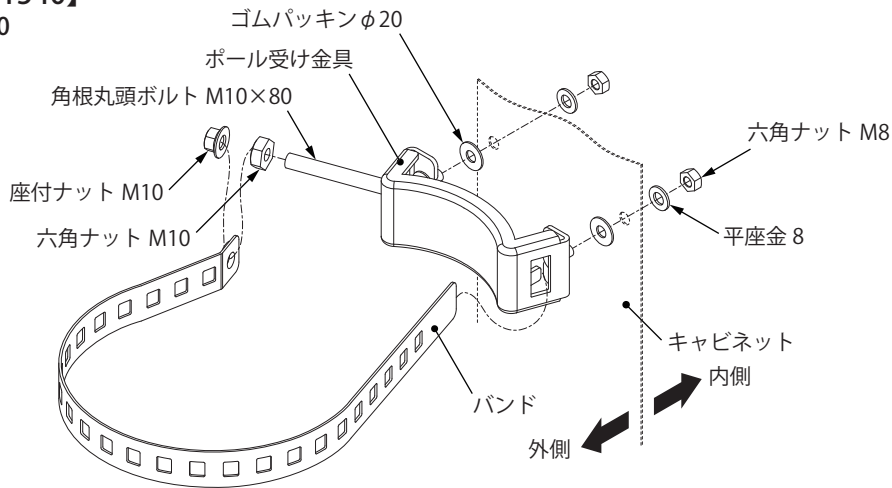
【PMC-206・306・406】

図はPMC-306



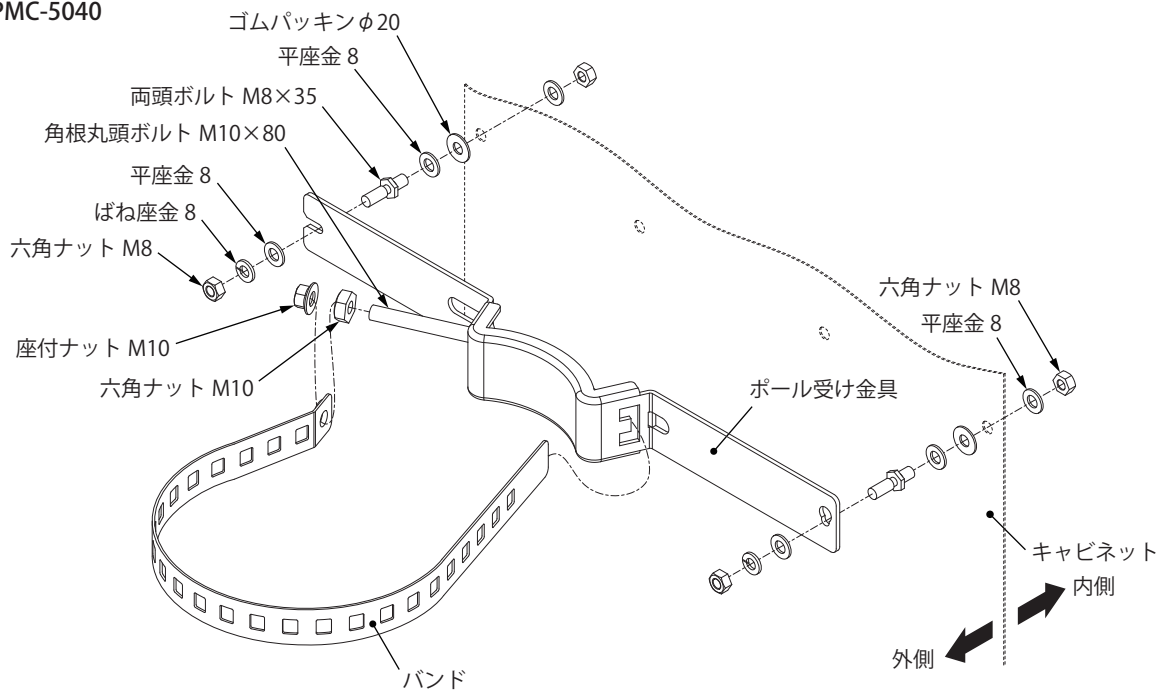
【PMC-158~1540】

図はPMC-1540



【PMC-208~2040・308~3040・408~4040・508~5040】

図はPMC-5040



●付属品

名称	数量					
	PMC-156	PMC-158・1512・1517・1525・1540	PMC-206・306	PMC-208・2012・2017・2025・2040・308・3012・3017・3025・3040	PMC-406	PMC-408・4012・4017・4025・4040・508・5012・5017・5025・5040
六角ボルト M8×30	2コ	—	2コ	—	4コ	—
両頭ボルト M8×35	—	—	4コ	4コ	8コ	8コ
六角ナット M8	4コ	4コ	8コ	8コ	16コ	16コ
平座金 8	6コ	4コ	14コ	12コ	28コ	24コ
ばね座金 8	2コ	—	6コ	4コ	12コ	8コ
ゴムパッキンφ20	4コ	4コ	4コ	4コ	8コ	8コ
取扱説明書（本紙）	1部	1部	1部	1部	1部	1部

■仕様

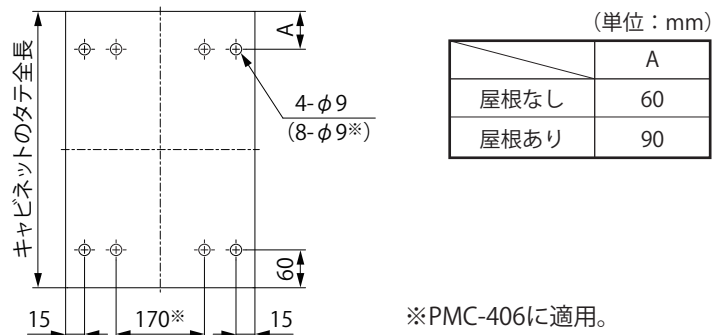
材質	鉄
板厚	ポール受け金具…3.2mm
	バンド…1.2mmまたは1.6mm
表面処理	溶融亜鉛めっき

■施工方法

●PMC-156・206・306・406

1. キャビネットの穴加工

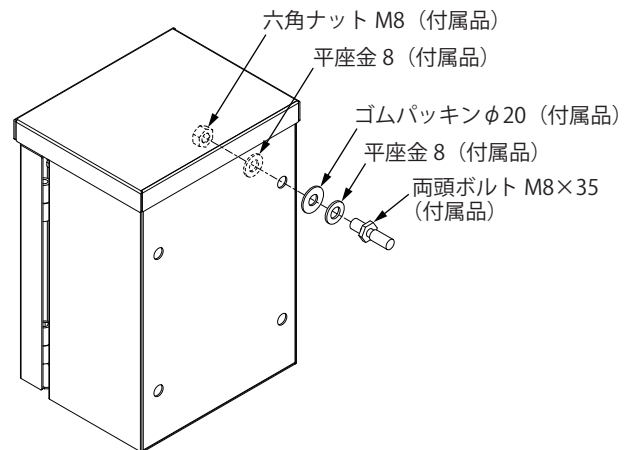
キャビネット背面に穴加工をしてください。



2. 両頭ボルトの取付け

キャビネットに両頭ボルトM8×35（付属品）をねじの長い方を外側にして取付けます。

ご注意 PMC-156に両頭ボルトM8×35は付属されていません。

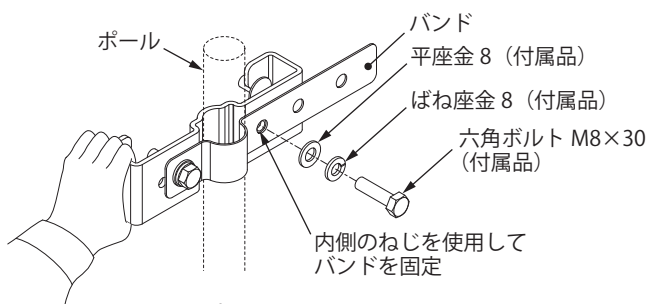


3. バンドの取付け

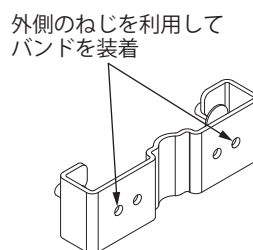
①図のようにポールにバンドを巻付け、平座金8（付属品）・ばね座金8（付属品）・六角ボルトM8×30（付属品）でバンドを取付けます。

ご注意

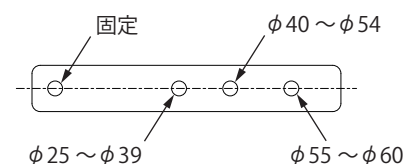
上側・下側の刻印に従い取付けてください。（PMC-156は刻印なし）
バンドはめっき品です。過剰に繰り返し折り曲げるとめっきが剥がれる原因になります。



ポール径φ25～φ39の場合



ポール径φ40～φ60の場合

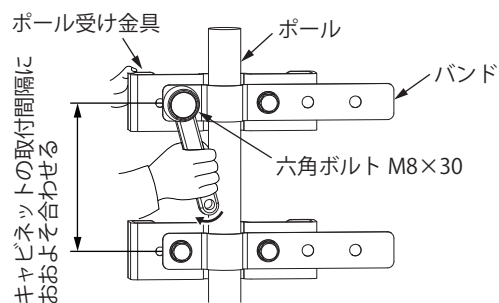


ポール径別バンド取付穴

②ポール受け金具をささえ、ラチェットレンチ(呼び13)で所定の位置に締付けてください。

【ご注意】 必ず左右均等に六角ボルトM8×30を締付けてください。

③下側のポール受け金具は、後で位置合わせができる程度にゆるく締付けてください。



4. キャビネットの取付け

【PMC-156】

①上部のポール受け金具のボルトに、ゴムパッキンφ20(付属品)を入れ、キャビネットの取付穴に差込みます。

②キャビネット内側から平座金8(付属品)・六角ナットM8(付属品)で仮止めします。

③下部のポール受け金具をキャビネットの取付穴に合うように、バンド位置を変更してください。

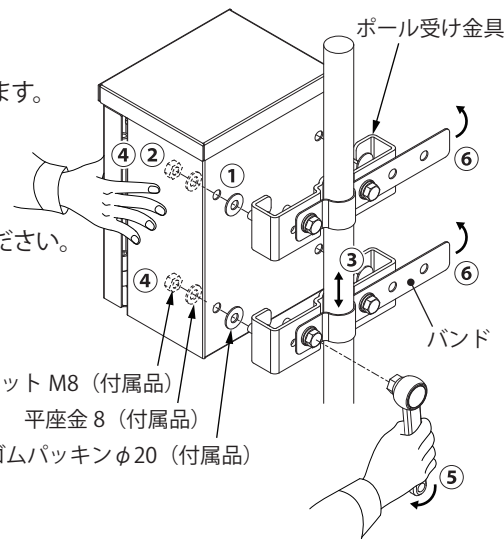
④ポール受け金具のボルトにゴムパッキンφ20(付属品)を入れ、キャビネットの取付穴に差込み、平座金8(付属品)・六角ナットM8(付属品)を取付けてください。
②で仮止めした六角ナットM8についても締付けてください。

⑤ラチェットレンチ(呼び13)でバンドを締付けます。

【ご注意】 必ず左右均等に上下の六角ボルトM8×30を締めてください。

⑥ポール受け金具からはみ出たバンドは、内側に折曲げてください。

【ご注意】 バンドはめっき品です。過剰に繰り返し折り曲げるとめっきが剥がれる原因になります。



【PMC-206・306・406】

①上部のポール受け金具のU溝に、キャビネット上部の背面側から見て左側の両頭ボルトM8×35の溝部を入れます。

②キャビネットを矢印の方向へ寄せ、右側の両頭ボルトM8×35を、ポール受け金具のダルマ穴に入れ、ダルマ穴下側に両頭ボルトM8×35の溝部を入れます。

③平座金8(付属品)・ばね座金8(付属品)・六角ナットM8(付属品)の順に、両頭ボルトM8×35に組込み、仮止めします。

④下部のポール受け金具取付穴を、キャビネット下部の両頭ボルトM8×35に合うよう、バンド位置を変更して、平座金8(付属品)・ばね座金8(付属品)・六角ナットM8(付属品)の順に両頭ボルトM8×35に取付けます。

⑤ラチェットレンチ(呼び13)で、キャビネットとポール受け金具を締付けます。

③で仮止めした六角ナットM8についても締付けてください。

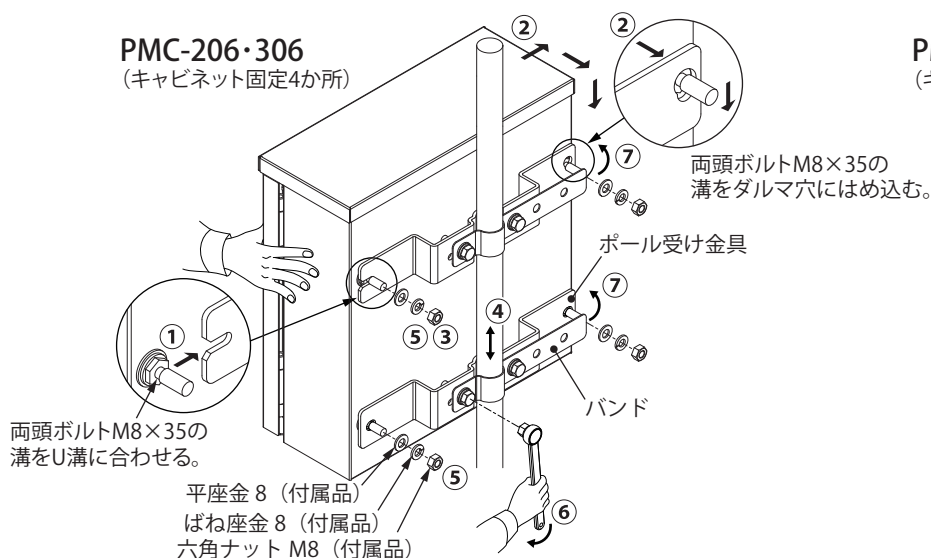
⑥ラチェットレンチ(呼び13)でバンドを締付けます。

【ご注意】 必ず左右均等に上下のボルトを締付けてください。

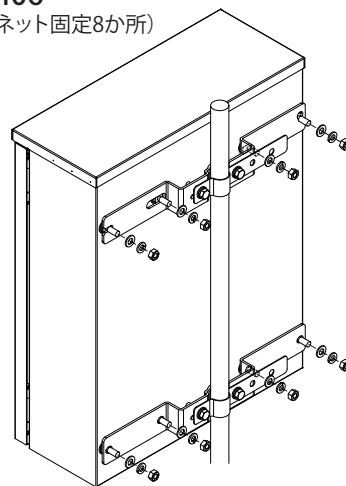
⑦ポール受け金具からはみ出たバンドは、内側に折曲げてください。

【ご注意】 バンドはめっき品です。過剰に繰り返し折り曲げるとめっきが剥がれる原因になります。

PMC-206・306 (キャビネット固定4か所)



PMC-406 (キャビネット固定8か所)



警告



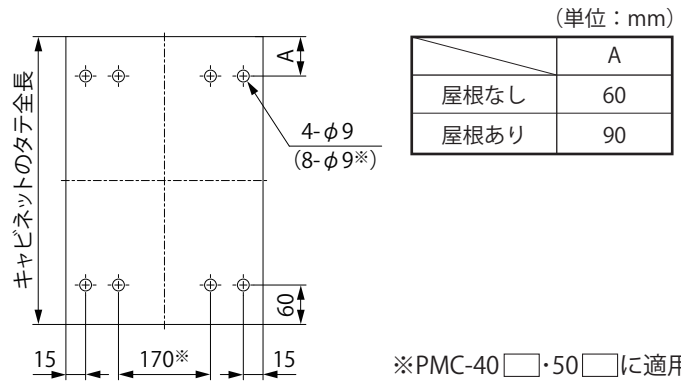
使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。また、使用環境或使用状態によって、ゆるむおそれがあります。定期的に増締めしてください。締付けが不十分な場合、破損、落下などの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M8	8.0 ~ 14.0

●PMC-158 ~ 1540・208 ~ 2040・308 ~ 3040・408 ~ 4040・508 ~ 5040

1. キャビネットの穴加工

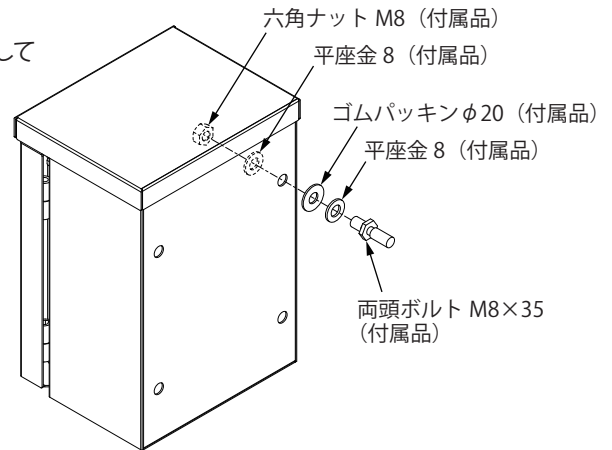
キャビネット背面に穴加工をしてください。



2. 両頭ボルトの取付け

キャビネットに両頭ボルトM8×35 (付属品) をねじの長い方を外側にして取付けます。

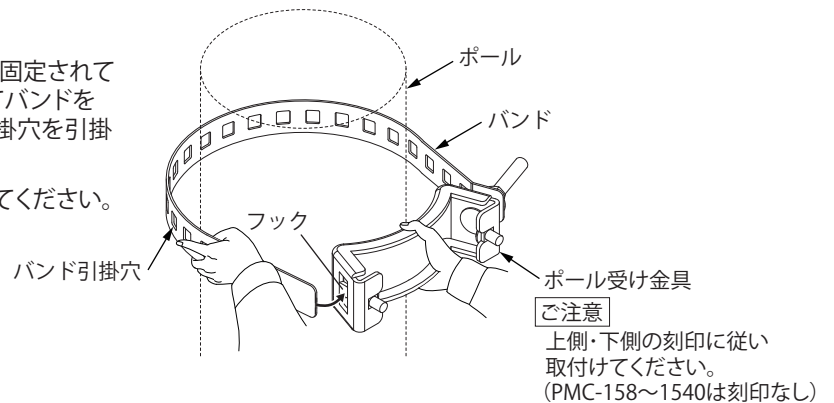
ご注意 PMC-158、1512・1517・1525・1540に両頭ボルトM8×35は付属されていません。



3. バンドの取付け

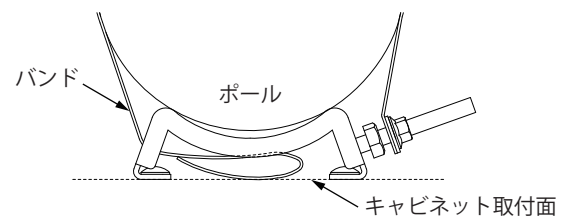
① ポール受け金具とバンド (ポール受け金具に固定されていない側) を持ち、図のようにポールに沿ってバンドを巻付け、ポール受け金具のフックにバンド引掛穴を引掛けます。

ご注意 バンドのたるみはなるべく小さくしてください。



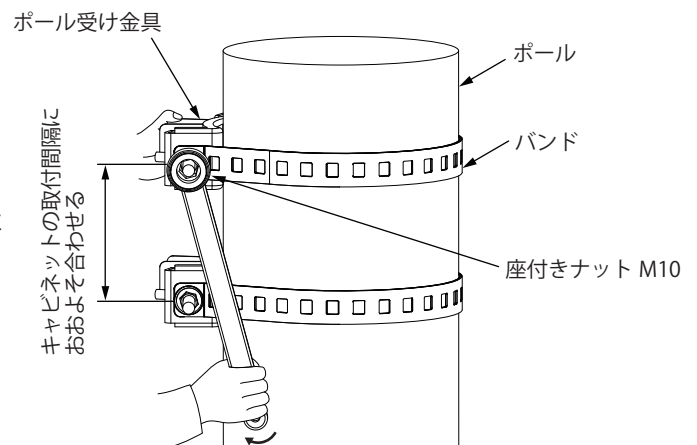
② ポール受け金具内側に出たバンドはキャビネット取付面から出ないように折曲げてください。

ご注意 バンドはめっき品です。過剰に繰り返し折り曲げるとめっきが剥がれる原因になります。



③ ポール受け金具をささえ、ラチェットレンチ (呼び17) で所定の位置に締付けてください。

ご注意 必ず右側ボルト頭を締めてください。

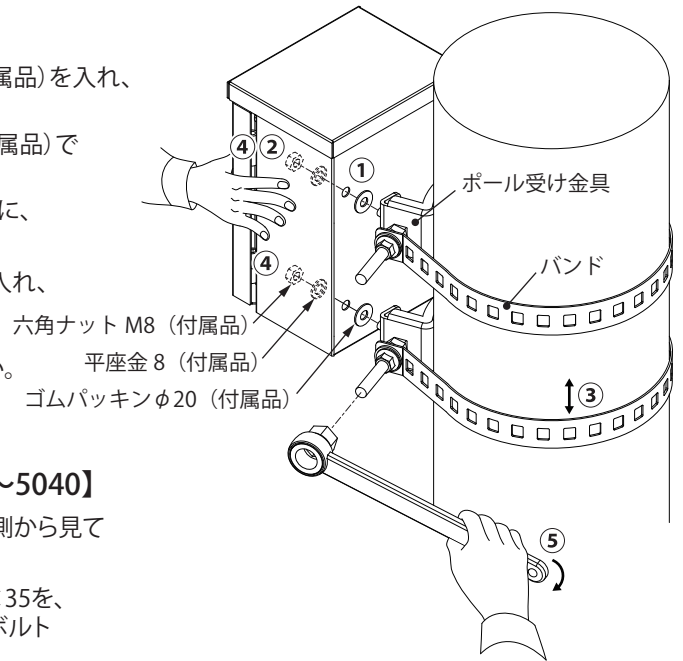


④ 下側のポール受け金具は、後で位置合わせができる程度にゆるく締付けてください。

4. キャビネットの取付け

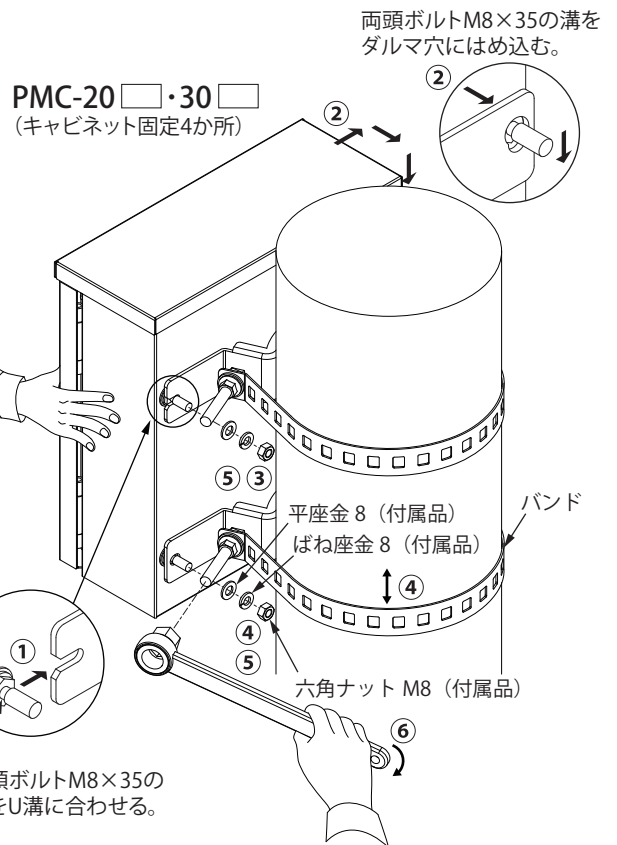
【PMC-158～1540】

- ① 上部のポール受け金具のボルトに、ゴムパッキンφ20(付属品)を入れ、キャビネットの取付穴に差込みます。
- ② キャビネット内側から平座金8(付属品)・六角ナットM8(付属品)で仮止めします。
- ③ 下部のポール受け金具をキャビネットの取付穴に合うように、バンド位置を変更してください。
- ④ ポール受け金具のボルトにゴムパッキンφ20(付属品)を入れ、キャビネットの取付穴に差込み、平座金8(付属品)・六角ナットM8(付属品)を取付けてください。
②で仮止めした六角ナットM8についても締付けてください。
- ⑤ ラチェットレンチ(呼び17)でバンドを締付けます。

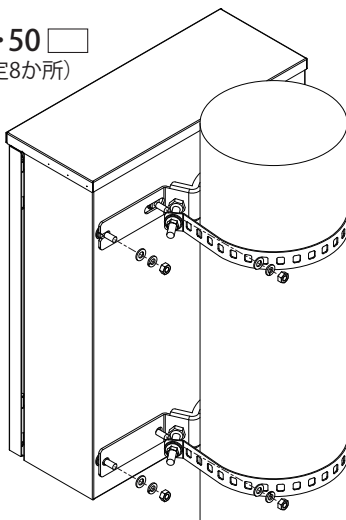


【PMC-208～2040・308～3040・408～4040・508～5040】

- ① 上部のポール受け金具のU溝に、キャビネット上部の背面側から見て左側の両頭ボルトM8×35の溝部を入れます。
- ② キャビネットを矢印の方向へ寄せ、右側の両頭ボルトM8×35を、ポール受け金具のダルマ穴に入れ、ダルマ穴下側に両頭ボルトM8×35の溝部を入れます。
- ③ 平座金8(付属品)・ばね座金8(付属品)・六角ナットM8の順に、両頭ボルトM8×35に組込み、仮止めします。
- ④ 下部のポール受け金具取付穴を、キャビネット下部の両頭ボルトM8×35に合うよう、バンド位置を変更して、平座金8(付属品)・ばね座金8(付属品)・六角ナットM8の順に両頭ボルトM8×35に取付けます。
- ⑤ ラチェットレンチ(呼び13)で、キャビネットとポール受け金具を締付けます。
③で仮止めした六角ナットM8についても締付けてください。
- ⑥ ラチェットレンチ(呼び17)でバンドを締付けます。



PMC-40□・50□ (キャビネット固定8か所)



警告



使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。また、使用環境や使用状態によって、ゆるむおそれがあります。定期的に増締めしてください。締付けが不十分な場合、破損、落下などの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M8	8.0 ~ 14.0
M10	15.0 ~ 25.0

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

TEL (0561) 64-0152

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- ・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2019年5月
C463100922
SK-256C

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION